

J A おやまレタス部会概要

部会員数	98名（平成25年度現在）
年間取扱数量	春150,000箱（10kg段ボール） 秋150,000箱（10kg段ボール）
年間販売金額	4～5億円

・当部会のレタスについては、年2作型（春）（秋）の栽培となっています。秋の9月下旬より出荷が始まり厳寒期となる12月から1月にかけて、数量は少ないものの一部ハウス栽培も取り入れている。

2月中旬～下旬にかけては春レタスの出荷が始まり5月下旬まで出荷が続く。

当部会の取組としては多種多様なニーズに応えるため、通常のラップレタスの販売に加え、朝採りレタスや業務用レタスの出荷も市場を介して実施している。こういった特殊な販売は市場と値決め販売等、契約的に実施をしており再生産価格の保持、所得の安定にも努めている。

こういった特殊な販売はラップをしないで出荷をして経費削減や、リターナブルコンテナ（リースコンテナ）を利用しゴミの削減等にも取り組んでいる。契約販売においては、通常ラップレタスと販売を別に行っているため取組む農家にもノルマを課せて実施しているが高齢化等もあり年々厳しくなっている。

時期により3月から5月中旬、10月から11月下旬には適期収穫を逃さないため、市場と協議し連日出荷も実施している。

安全・安心なレタスを提供するため生産履歴の記帳やGAPにも取り組んでいる。残留農薬検査、放射能モニタリング調査も実施している。

他野菜と連動して消費宣伝も行っており、量販店に出向きどのようなものが消費者に好まれ、またはじかれるのかを見て今後の生産に生かしている。現在高齢化が進んでいる中で作付面積の維持をどのようにしていくかが課題となっており雇用問題も含め更に検討することが必要不可欠となっている。

過去数年のJAおやまレタス部会月別販売数量及び箱単価

数量(箱)	2月	3月	4月	5月	10月	11月	12月
平成21年	20,200	56,000	46,000	26,000	90,000	440,000	9,407
平成22年	13,100	60,000	44,000	31,000	80,000	420,000	18,894
平成23年	17,620	50,000	48,000	27,000	90,000	55,000	7,429
平成24年	13,400	48,000	54,000	19,000	101,000	44,000	7,202
平成25年	14,000	67,000	44,000	22,000	80,000	42,000	12,934

箱単価(円)	2月	3月	4月	5月	10月	11月	12月
平成21年	1,470	1,980	1,880	1,350	710	860	1,490
平成22年	2,150	2,000	2,560	1,600	1,720	1,900	940
平成23年	2,270	1,450	1,180	870	1,580	1,030	1,350
平成24年	3,980	2,730	1,900	1,460	990	1,630	3,020
平成25年	2,380	1,210	1,810	1,100	1,600	2,370	2,110

